1959年1月31日第3種郵便物認可

週刊 うたごえ新聞

12／7 (1992年) NO. 1420

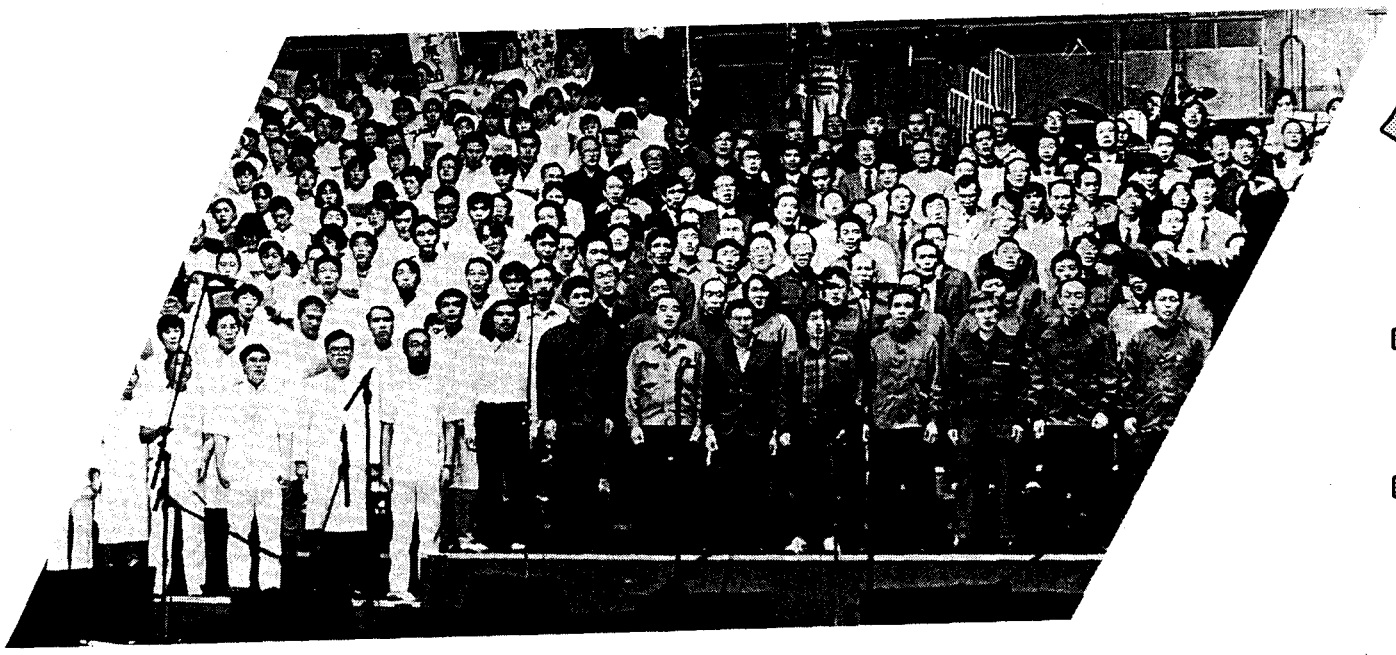
THE SINGING VOICE OF JAPAN (UTAGOE)
日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169 東京都新宿区大久保2—16—36
☎03(3209)0638 FAX 03(3200)0105
振替口座 東京2-5631 毎週月曜日発行
1部120円・税4円(〒26円)・月480円・税15円(〒120円)

やったあ！ '92日本のうたごえ 神奈川祭典 15,000人

かがやいのちのハーモニー

〝かがやいて いのち〟を合いことばに準備されてきた'92日本のうたごえ神奈川祭典は15000人が集い、文字どおり、生きる力、輝くいのちのハーモニーを響かせ成功裏に幕を閉じました。11月21日、川崎・エポック中原での合唱発表会・合唱団の部をかわきりに三日間、開かれた祭典は合唱発表会（合唱団、地域、職場、階層）には全国1000団体の予選を経た130団体が競演。特別音楽会、エキサイティングコンサート、そして、横浜アリーナの大音楽会と多彩なゲストと一人ひとりの思いをよせあい、くりひろげられました。人々の日々の思いを音楽に託して、大音楽会フィナーレの9500人の全員合唱は明日への確かな力を響かせました。

（写真特集4、5、8面、合唱発表会入賞団体7面、詳報次号）



日本のうたごえ 祭典 特集

写真は㊤合唱発表会、㊥、㊦大音楽会の各ステージより

ふめんだい

「横浜アリーナ」という祭典史上最大級の会場で日本のうたごえ神奈川祭典が成功裏に幕を閉じた。

当日参加された皆さんにはもちろん、準備のために奮闘された神奈川の皆さんそして全国の皆さんに心より敬意を表します。

☆ ★ ☆

まさに圧巻の〈ぞうれっしゃ〉、労働者・福祉合同の「いのち・くらし・たたかい」の舞台、そして中でも、今年できたばかりの合唱組曲「みどりかがやけ」（奥田史郎作詩 安達元彦作曲）の全国合同初演。

☆ ★ ☆

僕の所属する合唱団もこの演奏に参加しているが、非常に限られた練習回数の中で一人一人の団員の努力は特筆される。全国いたるところでそういうドラマが繰り広げられ、その集約点、結集点として今回の舞台になったといえるだろう。

この祭典で生まれたこのすばらしい合唱組曲をぜひうたい広めていきたいと思う。演奏の積み重ねからさらに豊かになっていくうただと思うし、ぜひ粘り強くとりくみたい。

☆ ★ ☆

当日都合などで会場においでいただけなかった皆さん！ この祭典の全体を映したビデオをぜひ！ 好評予約受付中!!

（佳）